

## 平成15年度

# 公営・準公営企業会計決算を認定

## 9月・10月定例会

大阪市会は、平成15年度の公営企業会計（バス、地下鉄・ニュートラム、水道、工業用水道の4事業）及び準公営企業会計（市民病院、中央卸売市場、港営、下水道の4事業）の決算報告などを審議する9月・10月定例会を9月29日から10月20日まで開きました。

決算報告については、公営・準公営企業会計決算特別委員会の審査を経たあと、10月20日の本会議において賛成多数により認定しました。

このほか、この定例会では、「真の地方分権に向けた三位一体の改革の実現と生活保護費等の国庫負担率引き下げ反対を求める意見書案」など合わせて38件の案件を議決しました。



本会議での審議の様相

定数	89人
自由民主党	34人
民主党	20人
公明党	19人
日本共産党	13人
超党 NOW - New Osaka Way	1人
無所属議員団	1人
無所属	1人

（平成16年11月19日現在）

## 決算特別委員会での主な論議



河本委員長の審査報告

### 交通事業

交通事業の決算状況と経営改善に向けた取り組みは

平成15年度決算は、バス事業で1億1,600万円の赤字となったが、人件費や管理委託に係る経費の縮減等により、8億2,400万円の収支改善となり、累積欠損金は506億4,100万円となっている。地下鉄・ニュートラム事業においては、人件費が減少したほか、総務省の指導等を踏まえ、一般会計からの特別償元金償還補助金の会計処理方法を変更したことなどにより、47億4,900万円の黒字となり、136億1,700万円の収支改善となった。また、累積欠損金は1,137億1,200万円となっている。

バス、地下鉄・ニュートラム両事業の運輸収入は、依然として減少傾向にあり、厳しい状況が続くものと考えているため、経営改革計画に盛り込んだ

増収対策やコスト削減策を着実に実施し、経営基盤の強化に努めていく。

信託事業の終了に伴うフェスティバルゲートの再生については

平成16年10月1日以降のフェスティバルゲートの運営については、提案競技における優秀提案者であるオリックス株式会社と株式会社アスクプランニングセンターの両社が出資する中間法人が設立したターミナル10有限公司との間で、マスターリース契約を締結した。賃貸借期間は5年間で、契約期間満了時や契約に定める事由により契約を解除した場合は、新事業者が原状回復を行うこととしているなど、交通局の負うリスクを最小限にとどめている。また、(仮称)交通記念館についても、集客を図る仕掛けやイベントのアイデア等、民間の施設運営ノウハウが必要不可欠であることから、新事業者に委託し、利益を折半することにより、インセンティブが働くようなシステムにしていきたいと考えている。(仮称)交通記念館の共益費の平米単価は、本市関係を除くテナント部分の共益費と比較すると5.8倍であるが、この額については交通局としても決して納得しているわけではなく、不動産鑑定士など外部の専門家の意見を聴取して、運営委託費を含めて調査・検証し、本市が過度に負担することのないよう指摘のあった諸課題の解決に向けて、新事業者と協議・調整を図っていく。

10月5～8日・12日の5日間、各委員が様々な論議を交わしました。その主な内容を決算特別委員長の審査報告をもとに紹介します。



フェスティバルゲート

その他の質疑項目  
 {バス事業の管理委託の拡大、地下鉄第8号線の延伸、駅ホームからの転落防止対策など}

### 水道事業

水道事業の収支状況と費用削減の取り組みは

平成17年度までの中期収支見通しにおいて、15年度決算で32億円の欠損を見込んでいたが、34億2,100万円の剰余となり、14年度と比べ31億500万円の収支改善となった。主な要因は、給水収益が3.1%減少したものの、人件費で26億2,800万円、物件費では、重点的な事業執行等により18億7,400万円の減少が図られたことによるものである。この結果、利益剰余金処分後の累積損益は83億円の剰余となっており、16年度はもとより17年度末においても累積欠損を生じることなく事業運営を維持できる見通しである。

その他の質疑項目  
 {水道水のPR方法、水道料金体系のあり方、福祉減免措置の見直しなど}

### 交通・水道両事業

交通・水道両局の特殊勤務手当や職員互助組合の事業運営の適正化、交通局OB職員永年勤続乗車券の見直しは

水道局における業務手当は、業務効率の向上のため所定の勤務に服する職員を対象とし、係長級以下の全職員に支給している。これまでの市会での指摘や包括外部監査の報告、他都市における見直しの動向等を踏まえ、廃止を含めた抜本的な見直しが必要であると考えている。

交通局における特殊勤務手当の見直しについては、局内に委員会を立ち上げ、できるだけ早期に精査していく。

互助組合については、条例に基づき実施しているが、現在の事業内容や局からの補給金の割合は市民の理解を得られない状況となっている。両局ともに過去の経過に引きずられることなく可及的速やかに、当面は掛け金と補給金の割合の均衡が図られるよう取り組んでいく。

交通局OB職員への永年勤続乗車券は、長年の労苦をねぎらうとともに、在職中の経験を踏まえた市営交通に対する意見を聴取するために発行しているが、廃止すべきとの意見を尊重し、新年度に向けて前向きに検討を進めていきたい。

### 市民病院事業

市民病院事業の経営状況と今後のあり方は

第2次経営健全化計画の初年度である平成15年度決算においては、14年度に比べ、患者数が入院で2%、外来で4.9%増加したことや、平均在院日数の短縮に伴う診療単価の増加などにより医療収益で14億円の増収を図ることができたが、繰り出し基準の見直しによる一般会計繰入金金の減があったため、経常収益としては8億円の増収となった。また、費用は人件費の減少、一般管理経費の節減などに取り組んだ結果、5億円の増に抑えることができたものの、経常損益では5億円の赤字となり、累積欠損金は351億円と極めて多額となっている。感染症医療や小児救急などの行政的医療を行っているとはいえ、厳しい財政状況のなかで、収入の30%を一般会計から繰り入れていることから、さらなる経営改善に取り組む必要があると認識しており、独立行政法人化等の運営形態も含め、市民病院のあり方について検討会を立ち上げ取り組みを進めていく。さらに、何らかの形で外部の専門家の意見を取り入れる方法も検討し、実行していきたい。



総合医療センター

その他の質疑項目  
 {小児救急医療体制の整備、高度医療機器の有効活用、歯科救急医療など}

### 中央卸売市場事業

中央卸売市場事業の決算状況と施設使用料の改定は

平成15年度決算では、経常損失が23億円、累積欠損金は213億円となっている。これは元年度から実施した本場整備事業により生じた施設整備に要した経費が増大したことが大きな要因である。この経費については、業界との適正な費用負担を図るため、13年度から3回に分けて計54%の使用料改定を行うこととし、17年度には、最後の改定を行う予定となっている。しかしながら、市場内業者の経営状況は、各業界とも取引量が低下し、大変厳しい状況となっている。また、市場における品質管理の徹底による食の安全・安心の確保、規制緩和等の見直しによる効率的な流通システムへの転換を目的とする改正卸売市場法が17年度から適用されることもあり、本場内の業界から使用料改定の延期を求めざるを得ない状況となっている。これらの状況を十分勘案し、市場の活性化という観点や、市場としての経営努力も含め、議会の意見を伺いながら予算の時期までに考え方をまとめていきたい。

その他の質疑項目  
 {食の安全・安心確保の取り組み、東部市場の再整備、本場の未利用施設の解消など}

### 港営事業

埋立事業の今後の見通しは

平成15年度末の企業債残高1,165億円に対し、咲洲・舞洲の未処分地103haの資産総額は、変動要素があるものの、概ね1,700億円と見込んでおり、最終的には企業債の償還を行った上で収支均衡が確保できる計算となるが、

今後5年間に企業債元金償還のピークを迎え、収支改善を行うのに一刻の猶予もない状況であると認識している。企業の土地利用ニーズが賃貸中心となっているなかで厳しい状況が続いているものの、都市再生促進助成制度等の施策を活用するとともに、港湾事業経営改善委員会の審議を踏まえて、実効性のある収支改善方策を取りまとめ、分譲実績の確保に全力を尽くしていく。また、埋立地の損益計算については、現在専門の作業チームによって、過去の決算状況を整理し、将来における造成費を算定した上で埋立事業の総事業費を計算して、埋立地の原価計算要領の作成作業を進めているところである。40年以上の長期にわたる継続事業の仮算定であり、作業は複雑多岐にわたっているが、経営改善委員会の意見もいただきながら、18年度より損益計算を開始できるよう引き続き努力していく。

OTS線等の料金値下げの検討状況は

都市再生プログラムの中でコスモスクエア地区の開発促進のための重要施策として位置づけられており、現在、港湾局と交通局が連携し、監督官庁である国土交通省と協議・調整を続けているところである。仮に、OTS線区間の料金を交通局の料金体系に組み込む通算制料金とする場合には、梅田～コスモスクエア間の料金は3区270円となる。また、この場合には現行の事業形態のままで行う方法と、鉄道事業法に基づく上下分離方式などがあり、上下分離方式になれば、OTSは線路施設だけを保有する事業者となり、交通局はOTSが所有している車両と線路以外の設備等を取寄せ、鉄道を運行する事業者になるものと考えている。どのような方法になるかは監督官庁の指導のもと決定されることになるが、必

要な場合には、市長自ら国等に対し積極的に働きかけを行い、一日も早く実現できるよう最大の努力をしていく。



OTSテクノポート線

その他の質疑項目  
 {スーパー中環港湾、監理団体に関する委託・再委託のあり方、南港海水遊泳場の運営方針、臨海部の道路アクセスなど}

### 下水道事業

下水道事業の経営状況と経費削減に対する取り組みは

平成15年度決算では34億5,600万円の黒字となったが、累積欠損金が46億2,700万円、企業債残高が6,243億4,100万円と厳しい経営状況が続いている。これまで、下水処理場の維持管理業務の見直しや下水管渠のしゅんせつ業務の効率化などにより15年度までの3年間で103名の人員を削減し、経費についてもISO14001の認証取得を通じた省エネルギー・省資源の取り組みなどの削減を図ってきたところである。使用量の急速な回復が見込みがたい状況のなかで、浸水対策や水質保全対策等を着実に推進するため、今後とも費用対効果や優先順位を厳しく見詰め直し、選択と集中により計画的に取り組みとともに、職員のコスト意識を高め、より一層、簡素で効率的な事業運営を行っていく。

その他の質疑項目  
 {浸水対策費用の負担のあり方など}

## 決算特別委員会委員

委員長	河本正弘(公明)					
副委員長	明石直樹(公明)		勝田弘子(民主)			
委員	井上英孝(自民)	藤岡信雄(自民)	黒田富士(自民)	杉本末広(自民)	高野伸生(自民)	多賀谷俊史(自民)
	加藤仁子(自民)	坂井良和(自民)	村尾政利(自民)	長尾秀樹(民主)	福田賢治(民主)	田中豊(民主)
	神原昭二(民主)	八尾進(公明)	待場康生(公明)	辻義隆(公明)	石川莞爾(共産)	渡司考一(共産)
	長谷正子(共産)	関根信次(共産)				

## 可決された意見書・決議

真の地方分権に向けた三位一体の改革の実現と生活保護費等の国庫負担率引き下げ反対を求める意見書

JR労使紛争の早期解決を求める意見書

教育予算の拡充と教職員の定数改善、義務教育費国庫負担制度に関する意見書

(以上、平成16年9月29日可決)

福祉医療制度の改正に関する決議

(以上、平成16年10月20日可決)

決算特別委員会での論議については、詳しくは後日作成されます委員会記録をご覧ください。作成された記録は、市会図書室内の市会情報コーナー(市役所7階)や市立中央図書館などのほか、大阪市会ホームページ(http://www.city.osaka.jp/shikai/)でもご覧いただけます。

お知らせ  
 市会臨時会が12月17日(金)に開会されます。会議日程など詳細については、市会事務局調査課(☎6208-8694)へお問い合わせいただくか、大阪市会ホームページをご覧ください。

## 市会の動き

[9月・10月定例会]	
9/22(水)	招集告示
24(金)・27(月)	常任委員会(事前調査、請願書・陳情書の審査)
29(水)	本会議 開会(公営・準公営企業会計決算の市長説明など)
30(木)	決算特別委員会(正副委員長の互選、説明など)
10/1(金)	決算特別委員会(実地調査)
5(火)・8(金)	} 決算特別委員会(質疑)
12(火)	
15(金)・18(月)	常任委員会(請願書・陳情書の審査)
20(水)	決算特別委員会(態度決定)
	本会議 閉会(公営・準公営企業会計決算の認定など)

大阪市会は、去る10月23日に発生した新潟県中越地震により甚大な被害が発生している状況に鑑み、被災者を支援し復興に寄与するため、新潟県に対し、義援金(全議員1人1万円、計89万円)の贈呈を行いました。

### 平成15年度公営企業会計決算概要(収益的収支)

事業	収		益		費用		差		引	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
バス	273	9,345	275	987	1	1,642	506	4,088		
地下鉄・ニュートラム	1,628	7,916	1,581	3,062	47	4,854	1,137	1,231		
水道	772	1,312	737	9,240	34	2,072	116	9,547		
工業用水道	20	5,973	25	6,983	5	1,010	20	6,254		

### 平成15年度準公営企業会計決算概要(収益的収支)

事業	収		益		費用		差		引	
	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円	億	万円
市民病院	490	7,725	499	4,791	8	7,066	351	2,075		
中央卸売市場	88	53	111	4,270	23	4,217	213	3,017		
港営	74	8,115	67	9,388	6	8,727	6	8,727		
下水道	883	2,503	848	6,936	34	5,567	46	2,668		